

第1回神奈川県立21世紀の森指定管理者外部評価委員会議事録

開催日時 令和元年10月24日(木) 午前11時20分～12時45分

開催場所 県立21世紀の森 研修室

出席委員 (委員長) 城田 孝子、(副委員長) 沖野 智子、関岡 東生、
瀬戸 賢二、城土 裕

議題

- 1 委員長の選任について
- 2 会議の公開・非公開の取扱いについて
- 3 県立21世紀の森の概要について
- 4 今後のスケジュールについて
- 5 指定管理者選定に係る「選定基準」について

○ 開会

委員会を開会し、事務局から各委員を紹介した。

議題1 委員長の選任について

事務局から説明した後、「神奈川県立21世紀の森指定管理者外部評価委員会の設置及び運営に関する要綱」第5条第2項の規定に基づき、委員の互選により城田委員を推薦する意見があり、各委員異議なしで、城田委員を委員長に選任し、以降の議事の議長を委員長が勤めることとした。

なお、副委員長については委員長の指名により、沖野委員を副委員長に選任した。

議題2 会議の公開・非公開の取扱いについて

事務局から会議の公開、非公開の取扱いについて、「附属機関等の設置及び会議公開等運営に関する要綱」等を説明し、各委員とも公開について了承し、会議の議事内容を原則公開することとした。

ただし、議題5「指定管理者に係る「選定基準」について」は一部公開できない情報が含まれることから非公開とすることとした。

また、会議記録については、発言者氏名を特定せず、単に「委員」（ただし、委員長については、議事進行上の発言は「委員長」）として標記し、発言内容は趣旨が明確となる程度に要約し、議題5については、議事概要を作成することとした。

議題3 県立21世紀の森の概要について

事務局から県立21世紀の森の設置目的、施設の概要、利用状況、指定管

理者制度による管理運営状況の総括について説明した。

(委員) 選定基準の大項目の配点は、神奈川県指定管理施設に共通するものか。

(事務局) 神奈川県指定管理者制度の運用に関する指針で決まっている。

(委員) 「団体の業務遂行能力」に適したうえで、「サービスの向上」や「管理経費の節減等」があるべきと考えるが、それについては議題5で意見を述べさせてもらう。

(事務局) 前回と比較すると「団体の業務遂行能力」は配点があがっているため、「全庁的にも業務遂行能力」を重視する流れにはなっている。

(委員) 「管理経費の節減等」とあるが、管理経費の適切な運用ではなくて、節減が評価されるということによいか。

(事務局) 「管理経費の節減等」は、計算式にあてはめて、提案価格が予定価格からどれだけ少ないかということを計算するため、節減を評価することになる。

(事務局) 前回と比較すると、「管理経費の節減等」は、配点を減らしている。

(委員) 節減という言葉では、適切な執行と違う意味になるのではないか。

(事務局) 選定の基準については、議題5で意見をいただくことになっている。

(委員) 利用者の統計について、駐車場に車を止めて、森林館、木材工芸センターへ行った場合は、重複してカウントしているのか。

(事務局) 重複してカウントしている。森林館、木材工芸センターは受付名簿の人数、駐車場は台数を把握して合計している。

(委員) 団体利用の場合はどのようにカウントしているのか。

(事務局) 団体予約は、その予約人数でカウントしている。

(委員) 傾向をつかむために一定のルールを決めているということか。

(事務局) 傾向を把握するため、当初からのカウントのルールで集計をしている。

議題4 今後のスケジュールについて

事務局から第1回外部評価委員会後、指定管理者の指定までのスケジュール及び第2回外部評価委員会を4月に行う予定であることについて説明した。

議題5 指定管理者に係る「選定基準」について

事務局から、次期指定管理者選定に係る「選定基準(案)」について、評価の考え方、採点基準、施設特性に応じて重視する視点について説明した。各委員とも、選定基準にかかる項目、評価の視点、配点、求める水準など選定基準(案)について検討し、一部修正の意見があった。